

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎

TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度、下記検査項目につきまして、新たに体外診断薬が販売されましたので、こちらにたいする新試薬での検査内容へ変更させていただきます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

● 検査内容変更項目：

■ 抗利尿ホルモン（ADH）（AVP）

◆ 変更期日：平成 26 年 3 月 31 日（月）受付分より

※ 詳細につきましては裏面をご参照下さい

■ 抗利尿ホルモン（ADH）(AVP)

抗利尿ホルモンは下垂体後葉より分泌され、9個のアミノ酸で構成されるペプチドホルモンです。ヒトの場合は8番目のアミノ酸がアルギンなので、一般的にアルギニンバソプレシン(AVP)と呼ばれています。

AVPは腎の尿細管に作用し、水の再吸収を促す働きを持ち、血漿浸透圧や血圧、体内の血液量などにより調整されます。

尿崩症は多飲および尿量の異常な増加(3,000mL/日以上)を伴う疾患ですが、中枢性(下垂体性)と腎性の二つに大別されます。AVP分泌低下症は中枢性尿崩症を引き起こす原因となるため、AVPの測定は下垂体性および腎性尿崩症の鑑別に必要とされます。また、ADH不適合分泌症候群(SIADH)はAVPが多量に分泌されるために水が過剰に貯蔵し、低Na血症および低浸透圧血症を発症する疾患です。

これらの疾患の診断には血漿AVPの測定が重要とされています。

本項目は、新たに体外診断薬が販売されましたので、こちらにたいする新試薬での検査内容へ変更させていただきます。

新試薬は、中枢性尿崩症の治療薬デスモプレシン投薬中の患者検体では高値になることがありますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

尚、下記のとおり検査内容が変更となりますので予めご了承ください。

◆ 検査内容:

検査内容	新	旧
検査項目名	AVP(ADH)	同左
採取容器	EDTA-2Na入り容器	同左
検体必要量	血漿 2.2 mL	血漿 1.6mL
検査方法	RIA2抗体法	同左
参考基準値 (単位)	3.8以下 (pg/mL)	3.6以下 (pg/mL)
所要日数	8~10日	7~9日
実施料 ※	D008「内分泌学的検査」26 235点	同左
判断料 ※	生化学的検査(Ⅱ) 144点	同左
備考	デスモプレシン(略名:DDAVP)投与患者の検体でのご依頼は避けてください(別紙添付) 溶血および乳び検体でのご依頼は避けてください	

※ 平成26年4月からの診療報酬改訂での点数変更はございません

◆ 変更期日: 平成26年3月31日(月)受付分より

◆ 関連疾患: 中枢性尿崩症 ・ ADH不適合分泌症候群(SIADH)

◆ 関連項目: Na ・ 浸透圧(血清/尿)

臨床的意義参考文献 村瀬考司, 他: 日本臨床 68(増刊号 7):260~263, 2010.

ご不明な点がございましたら弊社担当までお申し付け下さい

以上